

Ⅱ 特別支援教育の現状

- 1 特別支援学校一覧
- 2 府立特別支援学校紹介
- 3 令和2年度府立特別支援学校中学部及び高等部卒業生の進路状況
- 4 府内特別支援学級児童生徒数
- 5 令和2年度府内小学校及び中学校特別支援学級卒業生の進路状況
- 6 府内通級による指導の実施状況

1 特別支援学校一覧

(令和 3.9.1 現在)

学校		区分	所在地	校長名	電話番号	設置学部
京 都 府 立	盲 学 校	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町27 (幼・小・中)	山下 融子	075-492-6733	幼・小・中・高
		603-8302	京都市北区紫野花ノ坊町1 (高)		075-462-5083	
	舞鶴分校 (休校中)	624-0853	舞鶴市字南田辺83	山下 融子	0773-75-1094	幼・小
	聾 学 校	616-8092	京都市右京区御室大内4	芦田 雅哉	075-461-8121	幼・小・中・高
		舞鶴分校	624-0853	舞鶴市字南田辺83	芦田 雅哉	0773-75-1094
	向日が丘支援学校	617-0813	長岡京市井ノ内朝日寺11	平岡 克也	075-951-8361	小・中・高
	宇治支援学校	611-0031	宇治市広野町丸山10	細矢 義伸	0774-41-3701	小・中・高
	城陽支援学校	610-0113	城陽市中芦原1-4	大政 勉	0774-53-7100	小・中・高
	八幡支援学校	614-8236	八幡市内里柿谷16-1	尾崎 伸次	075-982-7321	小・中・高
	井手やまぶき 支 援 学 校	610-0302	綴喜郡井手町大字井手小字大塚40-1	丸岡 惠真	0774-82-7010	小・中・高
	南山城支援学校	619-0231	相楽郡精華町大字山田小字医王寺1	下野 恵子	0774-72-7255	小・中・高
	丹波支援学校	629-0154	南丹市八木町柴山坊田118	後藤 昌則	0771-42-5185	小・中・高
	亀岡分校	621-0045	亀岡市千代川町湯井巽筋38	後藤 昌則	0771-23-7847	小・中
	中丹支援学校	620-0003	福知山市大字私市小字打溝8	村田 安弘	0773-32-0011	小・中・高
	舞鶴支援学校	624-0812	舞鶴市字堀4-1	山本 直之	0773-78-3133	小・中・高
	行永分校	625-0052	舞鶴市字行永2510-17	山本 直之	0773-63-6700	小・中
与謝の海支援学校	629-2261	与謝郡与謝野町字男山945	高橋 佳美	0772-46-2770	小・中・高	
京 都 市 立	呉竹総合支援学校	612-0061	京都市伏見区桃山福島太夫北町52	井尻 滋明	075-601-9104	小・中・高
	桃陽総合支援学校	612-0833	京都市伏見区深草大亀谷岩山町48-1	石原 廣保	075-641-2634	小・中
	鳴滝総合支援学校	616-8245	京都市右京区音戸山山ノ茶屋町9-2	玉梶 香織	075-461-3221	小・中・高
	東総合支援学校	607-8122	京都市山科区大塚高岩3	森田 香織	075-594-6501	小・中・高
	西総合支援学校	610-1101	京都市西京区大枝北沓掛町1丁目21-21	清水 美穂子	075-332-4275	小・中・高
	白河総合支援学校	606-8321	京都市左京区岡崎東福ノ川町9-2	中村 一郎	075-771-5510	高
	東山総合支援学校	605-0932	京都市東山区東大路渋谷下る妙法院前側町441	多田 薫	075-561-3373	高
	北総合支援学校	602-0074	京都市上京区堀川通寺ノ内上ル2丁目下天神町650-1	伊丹 由紀	075-431-6636	小・中・高
国 立	京都教育大学 附属特別支援学校	612-0847	京都市伏見区深草大亀谷大山町90	小谷 裕実	075-641-3531	小・中・高

2 府立特別支援学校紹介

(1) 府立盲学校

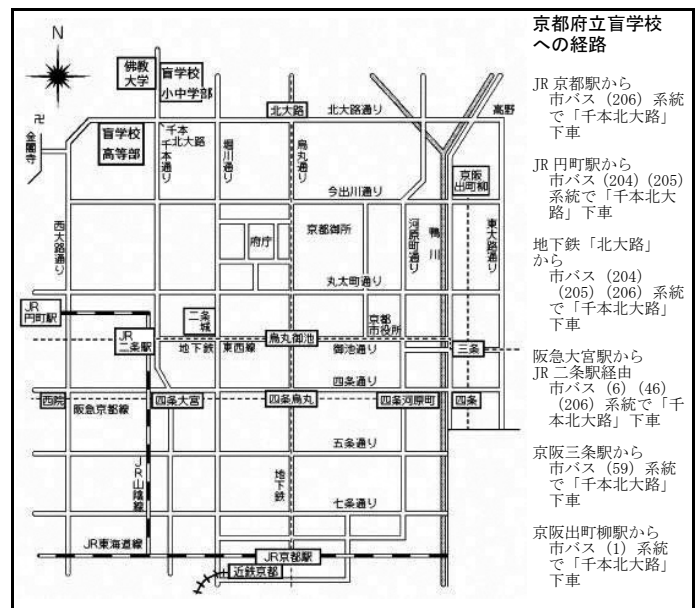


所在地	高等部 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 1 幼小・中学部 〒603-8231 京都市北区紫野大徳寺町 27
電話・FAX	高等部 075-462-5083 FAX 462-5770 幼小・中学部 492-6733 FAX 492-6920
HP(URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/mou-s/cms/
障害種別	視覚障害
設置部	幼稚部、小学部、中学部、 高等部(普通科、音楽科、保健医療科) 〃 専攻科(普通科、音楽科、保健医療科、理療科) 高等部専攻科研究部理療科

1 沿革の概要

明治11年	京都盲啞院として開設
明治22年	京都市へ移管「京都市立盲啞院」と改称
大正14年	盲・啞を分離し、京都市立盲学校と改称
昭和6年	京都府へ移管「京都府立盲学校」と改称
昭和12年	上京区(現北区)紫野花ノ坊町に校舎新築移転
昭和28年	北区紫野大徳寺町に幼・小学部校舎新築移転
昭和32年	小学部寄宿舎竣工
昭和53年	開学100周年記念式典挙行
平成6年	開閉式屋根付きプール竣工
平成10年	開学120周年記念式典挙行
平成13年	文部科学省特殊教育研究協力校に指定される
平成15年	皇太子殿下、皇太子妃殿下 行啓
平成17年	附属鍼灸マッサージ臨床センターを開設
平成19年	地域支援センターを開設
平成23年	地域支援センター「視覚教育相談室」を「京都府視覚支援センター」へ改称
平成25年	秋篠宮妃殿下 お成り
平成27年	高等部普通科京都フロンティアコース新設
平成30年	京都盲啞院関係資料3,000点(盲学校保管2,633点、聾学校保管367点)について国の重要文化財指定

【学校位置略図】



2 教育方針

京都府唯一の視覚障害教育に特化した特別支援学校として、幼児児童生徒に基礎学力をしっかりと身に付けさせるとともに、自立し、社会参加するために、必要な資質や能力を育成する。

3 学校の特徴

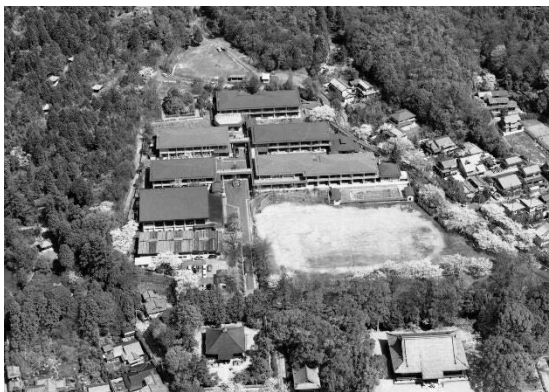
明治11年に京都盲啞院として創立された我が国最初の障害者のための公教育の場である。以来、日本における視覚障害教育の発展と福祉の増進のため、多彩な活動を展開してきている。幼稚部から高等部、更には専攻科を備え、舞鶴には分校を設置している。(平成23年度から分校は休校)また、附属鍼灸マッサージ臨床センターおよび視覚支援センターを設置し、鍼灸マッサージ治療や教育相談を広く実施している。平成27年度より高等部普通科に大学進学に特化した京都フロンティアコースを設置した。

4 幼児・児童・生徒数(地域別)

(令和3.5.1現在)

地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計	
幼稚部	1																						1	
小学部	4																						4	
中学部	1								1														2	
高等部	18	1		1	3				3						1								5	32
合計	24	1		1	3				4					1									5	39

(2) 府立聾学校

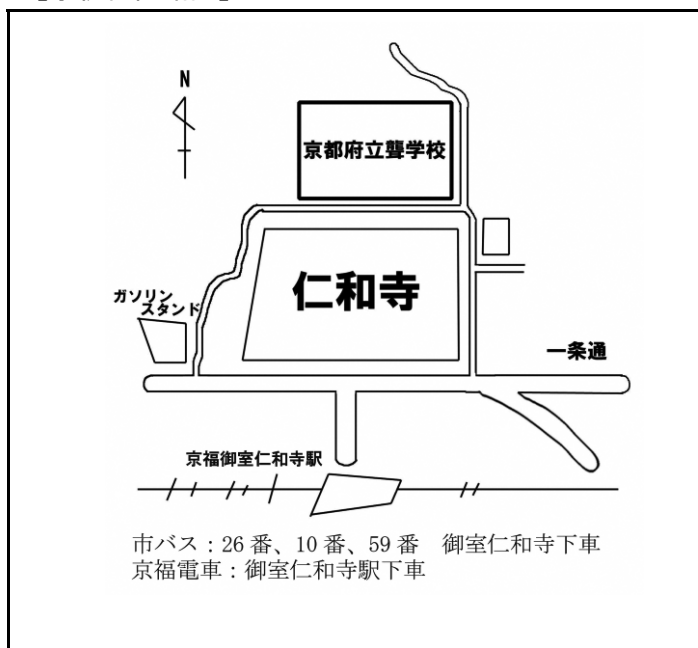


所在地	〒616-8092 京都市右京区御室大内4
電話・FAX	075-461-8121(代) FAX 075-461-8122
HP(URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/rou-s/cms/
障害種別	聴覚障害
設置部	幼稚部、小学部、中学部、 高等部(普通科、京都アート科、情報科)

1 沿革の概要

明治11年	日本最初の盲啞院として開学 初代院長古河太四郎
明治22年	京都市へ移管「京都市立盲啞院」と改称
大正14年	聾啞学校令により「京都市立聾啞学校」となる
昭和6年	京都府へ移管「京都府立聾啞学校」と改称
昭和7年	口話法の進展により「京都府立聾学校」と改称
昭和26年	現在地に移転
昭和53年	開学100周年記念式典挙行
昭和56年	本校校舎全面改築
平成19年	「京都府聴覚支援センター」を開設
平成24年	高等部に新学科開設
平成30年	「京都盲啞院関係資料」3,000点 (盲学校保管2,633点、聾学校保管367点)について国の重要文化財指定

【学校位置略図】



2 教育方針

学校はもとより家庭・地域等社会総がかりで取り組む聴覚障害児教育センターとして、聴覚に障害のある幼児児童生徒一人一人の自立や社会参加を実現し、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を推進する。【学校目標 夢・可能性・生きぬく力】

3 学校の特徴

- 明治11(1878)年に日本で最初の盲啞院として開学した歴史ある聾学校である。
- 言語指導やコミュニケーション支援に重点をおいた幼稚園、小・中・高等学校に準ずる教育を基本に、個に応じた教育をすすめている。
- 情報機器(パソコン、タブレット等)を積極的に活用した教育を進めている。
また、高等部に専門学科(情報科・京都アート科)がある。(平成24年度 開設)
- 乳幼児と保護者、地域の幼稚園・保育所や小・中・高等学校在籍児・担当者への「きこえやことばの相談」をすすめ、聴覚障害教育のセンター的機能を果たしている。

4 幼児・児童・生徒数(地域別)

(令和3.5.1現在)

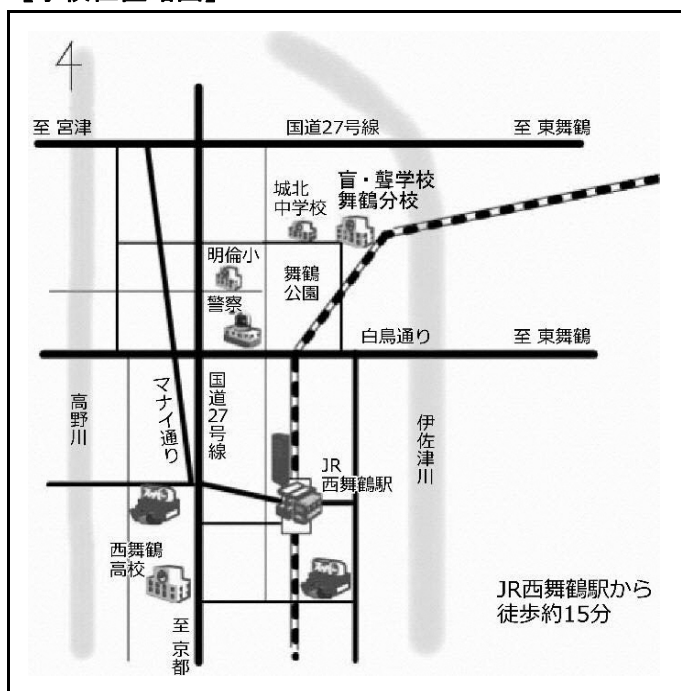
地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
幼稚部	15	2			1			1	2														21
小学部	15	1																					16
中学部	5			1	1				1			2	2										12
高等部	5							1	1				1									1	9
合計	40	3		1	2			2	4			2	3									1	58

(3) 府立盲学校舞鶴分校・聾学校舞鶴分校



所在地	〒624-0853 舞鶴市字南田辺83番地
電話・FAX	0773-75-1094 FAX 0773-76-2711
HP(URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/mourou-maizuru-s/
障害種別	視覚障害、聴覚障害
設置部	幼稚部、小学部

【学校位置略図】



1 沿革の概要

- 昭和27年 開校
- 昭和46年 聾学校に幼稚部設置
- 昭和52年 盲学校に幼稚部設置
- 昭和59年 教室・管理棟完成
- 昭和60年 寄宿舎完成
- 昭和62年 聾分校中学部、本校に統合
- 昭和62年 体育館完成
- 平成14年 開校50周年記念行事実施
通級指導教室開設
- 平成19年 「京都府北部視覚支援センター」
「京都府北部聴覚支援センター」
を開設
- 平成23年 盲分校休校
「京都府北部視覚支援センター」
の機能は舞鶴支援学校TSCに移管。
平成28年からは各特別支援
学校地域支援センターに移管。
- 平成29年 開校65周年記念行事実施

2 教育方針

学校はもとより家庭・地域等社会総がかりで取り組む聴覚障害児教育センターとして、聴覚に障害のある幼児児童生徒一人一人の自立や社会参加を実現し、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を推進する。【学校目標 夢・可能性・生きぬく力】

3 学校の特徴

- (1) 聴覚障害のある子どもが言葉を習得するために、早期からの言語教育を大切にし、幼稚園、小学校に準ずる教育を基本としながら、個々の障害や発達に応じた教育課程を編成している。
- (2) 個に応じたコミュニケーションの手立てを講じ、言語力や学力の充実・向上を図っている。
- (3) 情報機器(パソコン、タブレット等)を積極的に活用した教育を進めている。
- (4) 居住地校や近隣のこども園、小学校等と連携を図りながら、交流及び共同学習を教育課程に位置づけ、計画的・継続的に取り組んでいる。
- (5) 京都府北部における聴覚障害児教育のセンターとして、聴覚障害乳幼児及び児童生徒、家族や在籍する学校、地域に対して、京都府北部聴覚支援センターを中心に相談支援活動を推進している。

4 幼児・児童・生徒数(地域別)

(令和3.5.1現在)

学部	地域	京	向	長	八	宇	城	京	木	亀	南	綾	福	舞	宮	京	乙	久	綴	相	船	与	府	計
		都	日	岡	幡	治	陽	田	津	岡	丹	部	知	鶴	津	丹	訓	世	喜	楽	井	謝	外	
盲学校	幼稚部																							0
	小学部																							0
	合計																							0
聾学校	幼稚部											1		1	1	1								4
	小学部												1	4		1								6
	合計											1	1	5	1	2								10

(4) 府立向日が丘支援学校

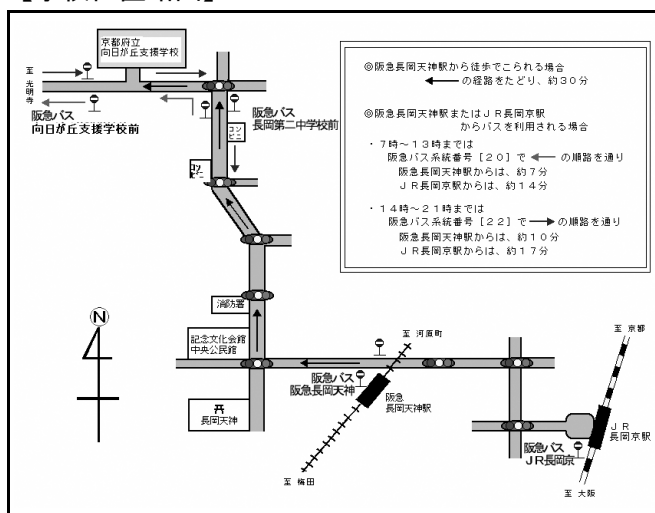


所在地	〒617-0813 長岡京市井ノ内朝日寺11
電話・FAX	075-951-8361 FAX 075-951-8362
HP (URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/cms
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

1 沿革の概要

- 昭和42年4月 肢体不自由養護学校として開校
- 昭和54年4月 乙訓教育局管内の知的障害児を受け入れる
- 昭和62年3月 新管理棟完成
- 平成19年4月 「向日が丘 相談・支援センター」を開設
- 平成23年4月 校区が乙訓2市1町のみとなる向日が丘養護学校から向日が丘支援学校に名称を変更
- 平成29年11月 創立50周年記念事業実施
- 平成30年4月 文部科学省特別支援教育に関する実践研究充実事業指定校
- 平成31年4月 上記指定校2年次
- 令和2年4月 高等部に制服導入
- 令和3年4月 高等部に作業服導入

【学校位置略図】



2 教育方針

「自分らしく 人とともに 今を生きる力を」

- (1) 命を大切に、健康で安全に生きる力を育てる。
- (2) 個々に応じたコミュニケーションの力を育て、共に生きる力を育てる。
- (3) 個々の学びを見つめなおし、わかってできる基礎学力をつける。
- (4) 自分らしく社会参加する力をつける。

3 学校の特徴

- (1) 京都府立特別支援学校として、三番目に歴史のある学校であり、乙訓地域唯一の特別支援学校である。
- (2) 長岡京跡や、光明寺などの歴史と西山の麓という豊かな自然に恵まれた環境に立地している。また、JR、阪急電車などの交通の利便性にも恵まれている。
- (3) 小中学校との居住地校交流や近隣の中学校、高等学校との学校間交流など、交流及び共同学習に積極的に取り組んでいる。
- (4) 卒業後に一人一人が幸せに生きていく力を養うため、社会に開かれた教育課程を編成して、地域社会と連携協働した教育をめざし、日々授業改善に取り組んでいる。
- (5) 「向日が丘 相談・支援センター」を設置。2名の専任コーディネーターを中心に、地域関係機関と協働した相談支援、研修支援等をすすめている。

4 幼児・児童・生徒数（地域別）

（令和3.5.1現在）

地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部		22	28													4							54
中学部		17	22													6							45
高等部		28	41													7							76
合計		67	91													17							175

(5) 府立宇治支援学校

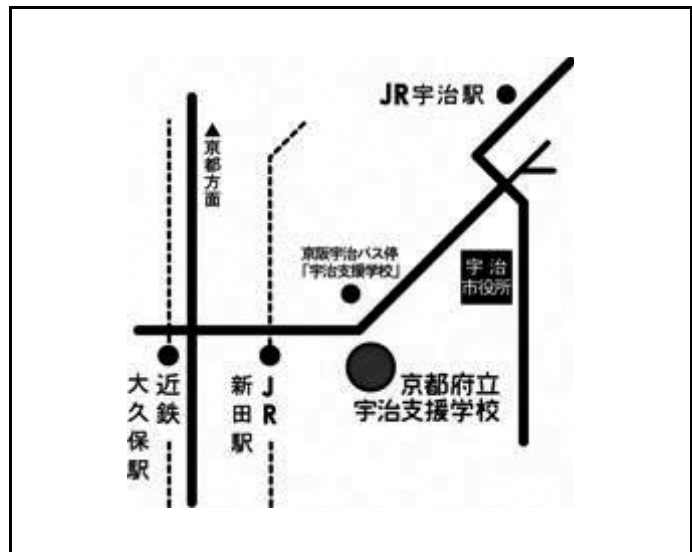


所在地	〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10
電話・FAX	0774-41-3701 FAX 0774-45-2220
HP(URL)	https://www.kyoto-be.ne.jp/uji-s/cms/
障害種別	知的障害・肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

1 沿革の概要

平成22年9月	京都府立宇治支援学校 開設
平成23年1月	「みどり香るまちづくりコンテスト」環境大臣賞受賞
平成23年4月	京都府立宇治支援学校 開校
平成23年4月	京都府スーパーサポートセンター開設
平成23年9月	カフェJOY（生徒が接客する喫茶店）開店
平成25・26年度	文部科学省実践研究充実事業 研究指定
平成27年度～	オリンピック・パラリンピック 教育モデル推進校事業
令和2年11月	開校10周年記念式典開催
令和3・4年度 (予定)	ICTを活用した自立活動の効果 的な指導の在り方調査研究

【学校位置略図】



2 教育方針

- ・学校理念 「喜びはともにあること」
- ・教育目標 よりよく生きる力をはぐくむ
一人一人の自立と社会参加を実現するために、児童生徒が地域社会と協働した授業の中で、生活する力、働く力といった生きる力を育む教育を推進していきます。

3 学校の特徴

- ・宇治市の市街地に立地する学校
- ・共生社会の形成に貢献する学校
- ・京都府の特別支援教育の拠点として教育相談・研究・研修支援のサポートを行う京都府スーパーサポートセンターを設置する学校
- ・地域でより良く暮らし、働き続けることを目標に地域の人との日常的な交流のある授業、地域に貢献する授業を展開する学校
- ・高等部コース制の実施（くらし健康コース・くらし地域コース・くらし職業コース）

4 幼児・児童・生徒数（地域別）

（令和3.5.1現在）

地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部					87	25																	112
中学部					59	15																	74
高等部					85	35																	120
合計					231	75																	306

(6) 府立城陽支援学校



所在地	〒610-0113 城陽市中芦原1-4
電話・FAX	0774-53-7100 FAX 0774-53-4044
HP(URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/cms/
障害種別	病弱、知的障害、肢体不自由
設置部	小学部（重心・病弱） 中学部（重心・病弱） 高等部 普通科（重心） ビジネス総合科
関係施設	独立行政法人国立病院機構 南京都病院

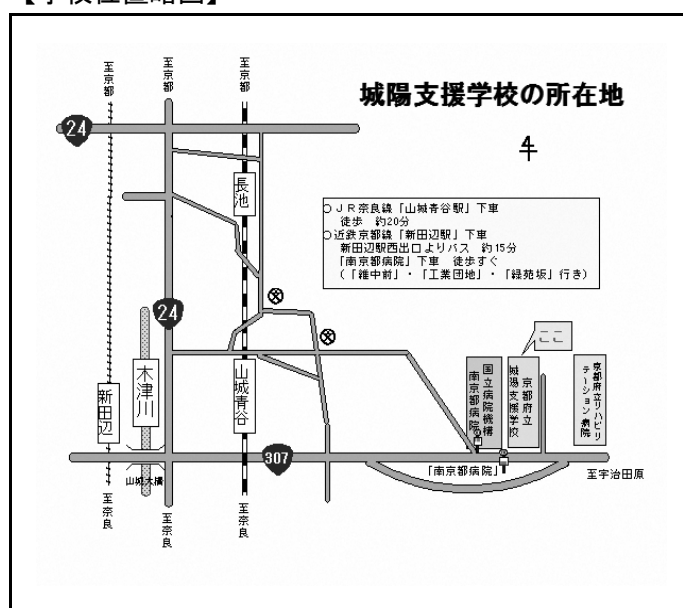
1 沿革の概要

昭和60年10月	京都府立城陽養護学校設置
昭和61年4月	京都府立城陽養護学校開校（重心教育部・病弱教育部の2学部）
昭和63年4月	通学高等部を設置
平成17年10月	開校20周年記念式典挙行
平成19年4月	地域支援センター「サポートJOYO」を開設
平成23年4月	城陽養護学校から城陽支援学校に名称を変更
平成25年4月	病弱通級指導教室を開室
平成27年10月	創立30周年記念式典挙行
平成29年4月	職業学科として高等部ビジネス総合科設置

2 教育方針

「いのち輝かせ、
こころ豊かに生きる力を育む」

【学校位置略図】



3 学校の特徴

- (1) 南京都病院に入院している重症心身障害児を対象として、毎日を快く、力いっぱい生きる児童生徒の育成を目指し、医療的ケアの充実を図り、日常生活の指導などの授業を行う重心教育部
- (2) 南京都病院に入院している喘息などの慢性疾患や心身症などの小・中学生を対象として、病気に負けず、自信を持って生きる児童生徒の育成を目指し、小・中学校と同じ教育課程で授業を行う病弱教育部
- (3) 自主通学可能な軽度の知的障害生徒を対象として、自立と社会参加を目指し、職業能力育成のための専門教科などを通して、社会人としての基礎的な資質・能力を高める授業を行う高等部ビジネス総合科

4 幼児・児童・生徒数（地域別）

(令和3.5.1現在)

学部	地域																	府外	計				
	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡			綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡
小学部	重心				1																	2	3
	病弱																						
中学部	重心							1															1
	病弱	2	1		1		1	2														1	8
高等部	重心				1	1			1		1											2	6
	高ビ					18	8	12	14								1	3	6				62
合計	重心				1	2				2		1										4	10
	病弱	2	1			1		1	2													1	8
	高ビ					18	8	12	14								1	3	6				62

(7) 府立八幡支援学校



所在地	〒614-8236 八幡市内里柿谷16-1
電話・FAX	075-982-7321 FAX 075-982-7361
HP(URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/yawata-s/mt/
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部 高等部（普通科・福祉総合科）

1 沿革の概要

- 平成20年4月 南部地域新設特別支援学校準備委員会発足
- 平成21年4月 府立京都八幡高等学校南キャンパス内に新設特別支援学校（八幡・久御山地区）開設準備室設置
- 平成21年9月 平成21年京都府条例第36号により府立八幡支援学校設置
- 平成22年4月 府立八幡支援学校開校
開校入学式挙
- 平成22年6月 竣工式挙
- 平成25年12月 内閣府「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」受賞
- 平成27年11月 博報賞受賞
- 平成28年4月 文部科学省 特別支援教育に関する実践研究充実事業 研究指定
- 平成29年10月 同上
- 平成30年4月 高等部 福祉総合科設置
- 平成30年12月 介護福祉初任者研修資格取得事業所 認定

【学校位置略図】



2 教育方針

- (1) 「つながり・チャレンジする子どもたち・学校」を学校経営の中で具現化・具体化し、発信する学校を目指す。
- (2) 「児童・生徒が安心して学ぶことができる学校」「保護者・地域が安心をして託すことができる学校」「教職員が安心して働くことができる学校」を目指す。
- (3) 全ての児童生徒が、社会の中でより良い生活を実現する力を獲得するために、可能性に着目し、可能性を伸ばす教育を徹底する学校を目指す。

3 学校の特徴

高等学校と同一敷地内に設置し、交流及び共同学習をとおして自立と社会参加をすすめていくというコンセプトをもつ、小学部から高等部を設置した特別支援学校である。また、地域の障害のある子どもたちの教育のセンターとしての役割を担う。

4 幼児・児童・生徒数（地域別）

（令和3.5.1現在）

地域 学部	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部	7			29			4										4						44
中学部	3			18			7										2						30
高等部	6			46	4	1	13	4									10		2				86
合計	16			93	4	1	24	4									16		2				160

※京都市は、桃山学園等からの通学生である。

(8) 府立井手やまぶき支援学校



所在地	〒610-0302 綴喜郡井手町大字井手小字大塚40-1
電話・FAX	0774-82-7010 FAX 0774-82-7011
H P (U R L)	https://www.kyoto-be.ne.jp/ideyamabuki-s/cms/
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

1 沿革の概要

令和3年9月 京都府立井手やまぶき支援学校 開設
 令和4年4月 京都府立井手やまぶき支援学校 開校

2 教育方針

○校是

光輝 地域(まち)を照らせ

○教育理念

地域と共に歩む学校

○学校教育目標

みがく むすぶ きりひらく

○目指す子ども像

【みがく子】自分の良さを知り、学ぶことの楽しさや喜びを積み上げ、自ら学び自らを「みがく子」

【むすぶ子】仲間と「むすび」、学び合い、共に豊かに活動する子

【きりひらく子】身につけた力を発揮し、地域と共に協働し、自分らしく未来を「きりひらく子」

3 学校の特徴

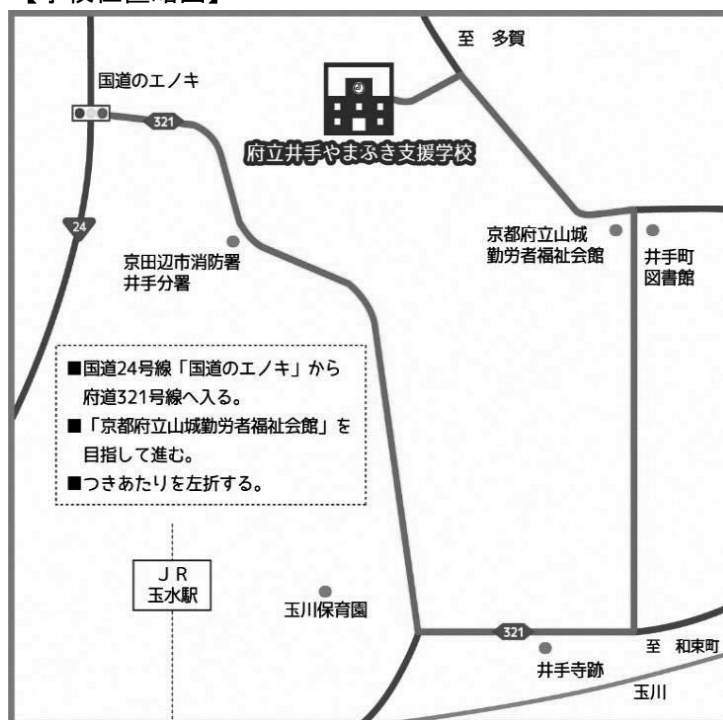
地域密着型のモデル校として、「インクルーシブ教育システム」の構築を目指し、地域のすべての人と一体となって「共生社会」の実現や地域の振興を担う。

特別支援教育のセンター的役割を発揮し、地域の特別支援教育の推進、発展に貢献する。

4 幼児・児童・生徒数（地域別）

地域	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
学部																							
小学部																							
中学部																							
高等部																							
合計																							

【学校位置略図】



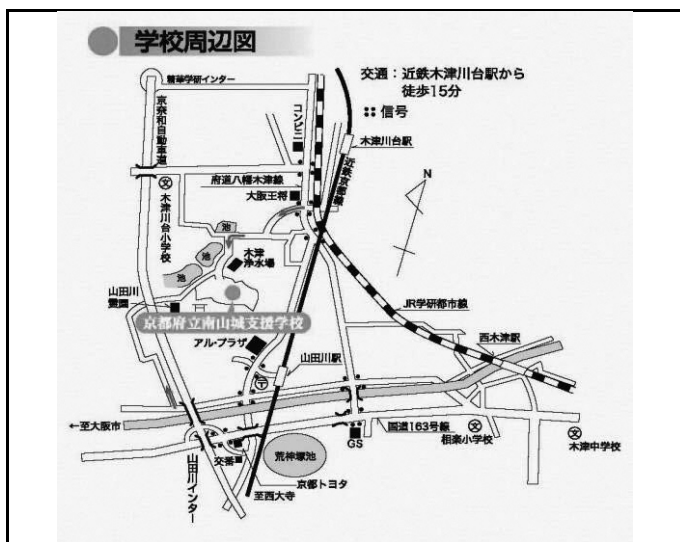
■国道24号線「国道の工ノキ」から府道321号線へ入る。
 ■「京都府立山城勤労者福祉会館」を目指して進む。
 ■つきあたりを左折する。

(9) 府立南山城支援学校



所在地	〒619-0231 相楽郡精華町大字山田小字医王寺 1
電話・FAX	0774-72-7255 FAX 0774-72-7256
HP (URL)	http://www.kyoto-be.ne.jp/minamiyamashiro-s/cms/
障害種別	知的障害、肢体不自由
設置部	小学部、中学部、高等部（普通科）

【学校位置略図】



1 沿革の概要

- 昭和56年 4月 京都府相楽郡精華町山田に開校
 昭和57年 4月 国立療養所南京都病院内に病弱分教室開設
 同病院しらうめ病棟訪問教育を京都府立桃山養護学校より移管
 昭和58年 3月 同病院内に城陽分校を設置、小学部・中学部の設置
 昭和61年 4月 学校指定変更（宇治市の平盛小学校区及び西大久保小学校区の知的障害児並びに久御山町の知的障害児及び肢体不自由児が本校の対象となる。）
 平成 2年 6月 高等部棟完成
 平成13年 3月 西 1 号館完成
 平成16年 9月 西 2 号館完成
 平成18年 9月 東 1 号館完成
 平成19年 4月 「南山城相談支援センター」を開設
 平成22年 4月 学校指定変更（久御山町の知的障害児、肢体不自由児が本校の対象から外れる）
 平成23年 4月 学校指定変更（宇治市、城陽市の知的障害児、肢体不自由児が本校の対象から外れる）
 南山城養護学校から南山城支援学校に名称を変更
 平成27年 3月 西 3 号館完成
 平成29年 4月 標準服導入（高等部）
 平成29年 9月 厨房改修工事完了
 令和 3年 4月 制服導入（中学部・高等部）

2 教育方針

学び合い 育ち合い 自立と社会参加の力を身につける学校

- (1) 障害による学習上や生活上の困難を改善・克服し、可能性を最大限に伸ばし、自立するために必要な力を身につける。
- (2) 一人一人が個性を発揮し、多様な人々とつながり、社会の中で自らの目標や夢に向かって、主体的に生きていくとともに、共生社会の形成に貢献できる力を養う。

3 学校の特徴

- (1) 安心安全な教育環境の整備と組織的、計画的で効果的な学校経営
- (2) 児童生徒一人一人の障害や教育的ニーズに応じた指導の充実
- (3) それぞれのライフステージでのキャリアを積めるよう、子どもが主体的に学び合う、質の高い授業作りや教育活動の推進
- (4) 児童生徒（保護者）の願いを基に、生涯にわたる一貫した支援の推進
- (5) インクルーシブ教育を推進し、「共生社会の形成」の形成に貢献する学校作りの推進

4 幼児・児童・生徒数（地域別）

（令和3.5.1現在）

学部	京都市	向日市	長岡京市	八幡市	宇治市	城陽市	京田辺市	木津川市	亀岡市	南丹市	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	乙訓郡	久世郡	綴喜郡	相楽郡	船井郡	与謝郡	府外	計
小学部							18	55										10	15				98
中学部							17	45										4	13				79
高等部							15	24										9	20				68
合計							50	124										23	48				245